



京 陽 の 窓

150周年をめざして、Think Globally Act Locally

4月臨時号②

令和2年4月23日



子どもたち一人一人を思い浮かべながら

校長 青木 幸代

チューリップをお届けします。

昨年冬、今の2年生が生活科の学習で球根を植えたものです。

「3月の卒業式でお世話になった6年生に、4月の入学式では、新しく入学してくる1年生に、それぞれ見てもらえるように！！」という願いを胸に、子ども達一人一人が、毎日水遣りをして大切に育ててきました。そのおかげで、3月の卒業式から4月の入学式にかけて見事な花を咲かせ、その愛らしい姿で、門出と新たな出会いに彩りを添えてくれました。

このチューリップは、植木鉢に最後まで咲いていた、名残の花です。



今日、2年生の先生方が、チューリップの植えられていた植木鉢の土や枯れた花々を空け、きれいにしました。生活科の学習で、トマトを育てるための準備です。本来であれば、子どもたちがする活動ですが、今の状況では叶いません。でも、いつでも栽培活動が始められるよう、苗を注文したり、花壇を耕したりもしました。

そして1年生の先生方はアサガオの種や土、そして植木鉢の準備や算段を始めています。

*

*

*

*

*

感染症拡大の状況は未だ厳しいことは申すまでもございません。5月7日以降のことも、見えないうこと尽くしですが、学校では現在、今後どのような対応となっても、仮に家庭学習の期間が長引いたとしても、「当該学年の学習を進める」ことができるような、教材の準備に全力を尽くしています。私どもにとってもまさに経験したことのないことですが、子どもたち一人一人の表情を思い浮かべながら、取り組んでいます。

今後の見通しについては、来週始めに学校だよりにて、また各学年の学習の詳細については各学年だより5月号（5月1日発行予定）にてお知らせいたします。

来週といえば、27、28、30日には、再び各担任からご家庭に電話連絡をさせていただく予定となっています。子どもたちの声を聞くと、教員たちがみるみる元気になります。ご協力、よろしくお祈りいたします。